

ハノイでカワイイをさがす 団地の竹下通り

KS
DP 関西大学
戦略的研究基盤
団地再編
リーフレット
Re-DANCHI leaflet-

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

MAY 2012
VOL. 059



クオントン団地の通り抜け商店

ハノイの団地といっても、もともとどのような人が住むための団地であったかで、今でも何となく様子が違う。政府の高級官僚の官舎であった団地は今も落ち着いた雰囲気漂い、団地内の学校は教育のレベルが高いと人気がある。官営工場の社宅であった団地は金属部品等を扱う専門市ができ、庶民的である。ここに紹介するクオントン団地は、珍しく箱形でない市場がある団地で、今では学生など若者の人気スポットとなっている。

クオントン団地は、道に沿った長い曲面の住棟が珍しい都市型の団地である。団地の南側には医学や薬学の専門学校、大学などがある文教地区である。夕方になると、鞆を抱えた学生たちのグループが次々と集まってくる。この団地の中にできている新しいスタイルのカフェ、パソコンを並べたゲームセン

ター、そしてカワイイ雑貨屋。通り沿いに鍋を出して売っている揚げ菓子を食べながら、団地内を歩いていく。日本通の人たちの間で、ハノイの竹下通りとよばれている場所があると聞き、たずねてみた。

住棟の1階のある雑貨の店に入る。棚には所狭しと雑貨が並ぶ。頭に気をつけなければならないくらい上からもいろいろなものがぶら下がっている。右、左を眺めながら進むと、店はどこまでも続き、そしてまた外へ出た。住棟の一階を貫通しているのだ。

このような貫通型の商店が、路地のように団地の一階を何本貫通している。団地はハノイの新しい商業空間も作り出していく。通り抜けのできる店が楽しいことをみんな知っている。当たり前空間が、当たり前生まれているのがハノイの団地の面白いところだ。

図1は、クオントン団地の比較的改造の少ない住戸の平面図である。住棟は階段室型で、階段室の入口がある側に、1階住戸の玄関があり、上階は共用通路となっている。一階住戸は、表と裏の空地を取り込んでいて、前栽や裏庭のようにになっている家が多い。図1の家は、玄関側を古着屋の店舗に貸している。クオントン団地に大規模な古着市場があり、一階を古着屋に貸している住戸が多い。裏側は、夜だけバイクを預かっていると居住者の女性が言っていた。

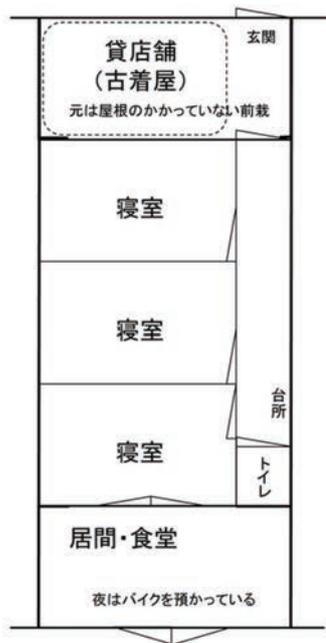


図1 一般的な1階の住戸

図2は、通り抜けのできる貫通した店舗のおおよその平面図である。台所トイレが端に並んでいるので、比較的改造がしやすい平面であることがわかる。このような路地が一つの住棟に3本並んでいる。

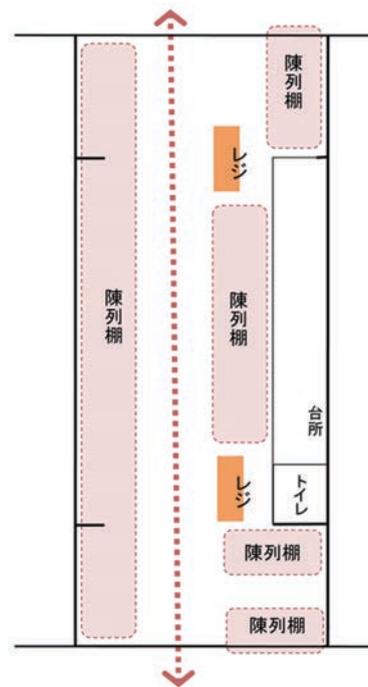


図2 貫通した店舗

このほかにも、パソコンの並んだゲームセンター2件も貫通した店舗だが、こちらのほうは片側をとじていて、出入りはできない。カフェは、おおよその前庭の部分だけを借りての営業。機能的でわかりやすい空間のほざだった団地が、迷路のような魅惑的な空間になっていく。



関連リーフレット：004 026 058

『ハノイでカワイイをさがす 団地の竹下通り』

調査：岡 絵理子 (関西大学 准教授)
 レクチャー：岡 絵理子 (")
 執筆：岡 絵理子 (")

発行：2012年5月

(調査：2012年3月18～25日)
 (講演：2012年5月15日)

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅「団地」の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成23年度～平成27年度)」によって作成された。

関西大学
 先端科学技術推進機構 地域再生センター
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
 先端科学技術推進機構 4F 団地再編プロジェクト室
 Tel : 06-6368-1111 (内線 : 6720)
 URL : <http://ksdp.jimdo.com/>